

事業名	地球温暖化適応策推進事業費	部局	環境部	課・室	環境エネルギー課
		実施期間	H27 ~ H31	E-mail	kankyoene@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	1-1-3 次世代産業創出プロジェクト				
施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猛暑や集中豪雨などの極端な気象現象が発生。</li> <li>・県内の気候変動を予測するには、各地域の気温や降水量などの気象情報の収集が必要。</li> <li>・産学官が連携して、気候変動の被害を抑える取組が必要。</li> </ul>	29年度決算額	7,014 千円
		職員数	3.50 人

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報を収集し、県内各地域の気候変動の予測や影響を把握する。</li> <li>・産学官が連携して、気候変動の被害を抑える技術開発を目指す。</li> </ul> <p>(主な実施内容: 気候変動とその影響の把握及び予測、産学官で影響予測を共有、適応策に係る課題の検討 など)</p>
------	---

区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況							
	前年度繰越	0	0	0	No	成果指標	27年度	28年度	29年度			
事業額	当初予算	29,115	9,974	9,583	7,942	① 気候変動を予測するための気象情報の収集	303地点	348地点	目標値	532地点	134地点	未達成
	補正予算	-20,261	-1,512	-2,483					達成状況			
	合計(A)	8,854	8,462	7,100	7,942							
	一般財源	0	0	0	0							
Aの財源	県債	0	0	0	0	② 適応策を推進するための産学官連携による分野別部会と県民向け学習会の参加者数	-	108人	目標値	150人	198人	達成
	国庫支出金	0	0	0	0				達成状況			
	その他	8,854	8,462	7,100	7,942							
	決算額(B)	8,850	8,462	7,014								
概算人件費	職員数(人)	3.5	3.5	3.50	3.50							
	概算人件費(C)	28,966	27,699	28,357	28,357							
	概算事業費(B(A)+C)	37,816	36,161	35,371	36,299							

成果指標設定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 気温、降水量などの気象情報の収集が、気候変動の予測精度の向上につながるため。</li> <li>② 産学官が連携して、気候変動による被害を抑える技術開発が必要であるため。</li> </ul>
----------	---

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の気候変動の影響や対策を紹介するポータルサイトを立ち上げ、情報発信の基盤を整えた。</li> <li>・「信州・気候変動モニタリングレポート2015」を発行し、長野県内の気候変動の状況について情報発信した。</li> <li>・サイエンスカフェや出前講座等を開催し、県民へのリスクコミュニケーションを積極的に行った。</li> <li>・新たに生態系部会を立ち上げ、意見交換を実施した。</li> </ul>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が保有している気象データ中、観測地点の設定や得られたデータの信憑性など品質管理に問題があることが判明したため、目標としていた観測地点数に達しなかった。</li> <li>・気候変動の将来予測や影響評価に関するデータの公表が遅れており、具体的な技術開発につながっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象観測データの収集と品質管理手法の確立</li> <li>・積極的なデータの公表に努め、関係者との意見交換を行いながら技術開発を促進していく。</li> </ul>

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)	
					(当初)	(決算)		
1	1-1-3	地球温暖化適応策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信州・気候変動モニタリングネットワーク」を通じた気象情報の収集と影響の予測</li> <li>・「信州・気候変動適応プラットフォーム」を通じた産学官による適応策を推進するため、新たに生態系を立ち上げるとともに、県民へのリスクコミュニケーションを積極的に実施</li> </ul>	3.50	9,583	7,014	7,942	
				合計	3.50	9,583	7,014	7,942

事業改善シート附表

事業番号 06 02 03	事業名 地球温暖化適応策推進事業費	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施 状況	環境部		課・室 環境エネルギー課	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案    ■点検								
							27年度 当初 (千円)	28年度 当初 (千円)		29年度			総合5か年計画 プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業 番号)	
細事業 No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施 状況	当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	番 号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)	実施 年度		主な点検 区分結果
1	地球温暖化適応策推進事業	気象情報の収集と影響の予測 産学官による適応策の推進	直接	・気候変動の影響を明らかにするため、県内の気象情報を収集するとともに、将来の気候変動の影響を予測します ・適応策を推進するため、産学官からなる分業別部会（農業・防災・生態系等）において課題を検討します	県内の気象情報を収集し、各分野部会に気候変動により現在現れている影響や将来現れるであろう影響、その対策の有無、課題等をなどを調査した。また、協議会等において適応策に関する知見を収集した。	計画通り ○	29,115	5,726	5,279	5,279	-2,447	2,784	1-1-3	1-1,1		H28	企業・大学等との連携による気候変動被害抑制の取組	06-02-03
1	地球温暖化適応策推進事業	環境保全特別研究員の配置	直接	行政嘱託職員の配置	行政嘱託職員を配置した。	計画通り ○	0	4,248	4,304	4,304	-36	4,230	1-1-3	1-1,1		H28		06-02-03
合 計								29,115	9,974	9,583	9,583	-2,483	7,014			0		